

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴 (貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する)

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。



謹賀新年



明けましておめでとうございます。皆様健やかな新年を迎えられたことと思います。今年もさまざまな取り組みを紹介したいと思っておりますので「いちようだより」をよろしくお願いいたします。

昨年は、様々な自然災害(水害・台風・地震)の年となりました。被災された皆さま方には、心よりお見舞い申し上げます。一方、スポーツ界では2020東京オリンピックに向けての成果もみられ、メダルへの望みを繋ぐ頼もしいニュースもありました。

今年は、天皇陛下退位、皇太子殿下の天皇陛下即位と元号改元という、歴史的な節目の年となります。また、少子高齢化時代の社会保障財源と期待されてきた消費税が、10月には10%の引き上げになります。軽減税率制度を政府は考えているようですが、何か仕組みが複雑なようで、国民には理解されておらず、不安を感じている皆さんが多くおられるのではないかと思います。

我々、医療業界も慢性的な人材不足が続いており、病院の運営も大変難しく、厳しいものとなっております。その様な状況の中、今年の干支は“亥(イノシシ)”です。“亥(がい)”の意味は、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表しているといわれています。辛い時期を、静かにエネルギーを貯めて耐えるのか、猪突猛進のように突っ走るのか、病院経営者としては判断を迷うところがあります。

AIが世の中の様々な分野で活躍を始めていますが、これからの医療の現場にも、益々広がっていく事と思います。時代の変化が激しい中、精神科医療に関わる職員には、時代の動きを素早く察知し、これから何をしなければいけないのかを自らが考え、他の職種と協力していける脳力が必要になってくるのではないかと考えています。今年が皆様方にとってよい年でありますよう祈念いたします。



塗装工事が終わり、新しくなった病院

医療法人貴和会 理事長 水津信之



クリスマス会



12月22日(土)に一足早い防府病院クリスマス会を開催致しました。前半は各病棟対抗のカラオケ大会を行い、普段の作業療法で練習を重ねてきた曲をみなさんの前で堂々と披露していただきました。後半のクリスマスコンサートでは荒瀬先生・安永先生をお招きし、定番のクリスマスソングから演歌まで幅広い曲をご披露していただきました。また、患者さんのハンドベル演奏と先生方との「ジングルベル」のコラボ演奏も実現し、素敵な音色を奏でました。心地よい曲の数々に、患者さん、スタッフ一同素敵なクリスマスの時間を過ごすことができました。



今年も生演奏は大好評♪



もちつき



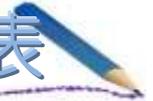
12月28日に、年末恒例の餅つきを行いました。当院では60年以上前から使用している「だいがら」という足踏み式の杵で餅つきを行っており、朝から曇り空で雪もちらつく中、だいがらの動きに合わせ患者さんの元気な掛け声とともに、真っ白なお餅がつき上がりました。

当院には「あんぴん」(柔らかい餅にあんこをまぶした物)という伝統メニューがあり、その日の昼食で食べた人からは、今年もおいしかったとの感想をいただきました。



もちつきの様子(左)とあんぴん(右)

院内研究発表



12月20日に第21回院内研究発表が行われました。各部門のスタッフが日常業務の中で抱える問題点や疑問点を研究により明らかにし、それに対して行った取り組みを発表する場です。今年度も各部署より8例の発表が集まりました。研究内容は多岐に渡りましたが、今年は迷惑行為がある患者への関わり方についてや離院時の速やかな対応についてなどの発表もありました。これからも日々、問題意識を持ちながら業務を行い、それを医療の質の向上につなげようと努力したいと思います。



発表の様子

編集後記



あけましておめでとうございます。皆様には幸多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。防府病院では、元旦に患者さんと院長はじめ職員で恒例の剣神社へ初詣に行っていました。昨年の感謝と、今年の健康等々をお祈りする事が出来ました。今年も分かりやすく読みやすい「いちょうだより」をお届けしていきたいと思っております。本年もどうぞよろしく願いいたします。

